

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ルアナ御幸町（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	R7年12月5日		～ R7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	R8年1月10日		～ R8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に基づく支援の実施、記録、モニタリング等が職員間で共有され、チーム支援体制が確立されている。	毎朝のミーティングで情報共有を行い、伝え漏れのないように口頭共、申し送りノートを活用し常に記録として残しています。スタッフの思いや疑問点、相談事は毎月行う支援会議と毎朝のミーティングで協議し個別支援計画に沿うように支援のあり方を全員で協議してきました。議論を重ねるごとにスタッフ間のコミュニケーションも深まり全員が同じ認識で支援にあたることができていました。	情報共有を徹底してきましたが、報告・連絡・相談がしやすい環境作りにつとめていきます。チームの関係性が深まり連携することで支援の質も向上すると思います。より一層日々のコミュニケーションを大切にし業務につとめたいと思います。
2	保護者アンケートにおいて通所満足度や安心感に関する評価が高く、保護者との信頼関係が構築されている。	保護者の方のご意見に真摯に向き合い、私たちが出来る事を全員で考え取り組んできました。お迎えに来た際や送迎先で様子を伝え情報共有につとめてきました。保護者の方との関係性を深めるため積極的にコミュニケーションをとってきました。	事業所全体行事、交流の場として運動会やルアナ祭りがありますが、その他に保護者を招いたイベントを実施したいと考えております。より多くの方に参加していただき子どもたちの様子や支援の様子を見ていただきたいです。こういふ場を設け保護者の皆様、子どもたち、スタッフ全員の関係性を深めていきたいです。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	標準化された評価ツール等を用いたフォーマルアセスメントの活用が十分ではなく、導入に向けた検討が必要である。	標準化された評価ツールをいくつか試行してみたが中々定着せず模索が続いており、フォーマルアセスメントの活用が不十分な状態である。	標準化された評価ツールの活用について継続して検討し、アセスメントの質の向上を図るため職員研修を実施する。
2	保護者交流や家族支援プログラムについて、参加促進や周知方法に改善の余地がある。	今年保護者交流も兼ねて事業所全体で運動交流会を行ったが、保護者には交流の場という認識が伝わりずらかったかもしれない。また、ペアレントトレーニングも開催したがアンケートを見ると周知が不十分だったかもしれない。	保護者交流や家族向け勉強会、ペアレントトレーニング等について、参加しやすい形や周知方法を検討し、保護者ニーズに応じた企画を実施していく
3			